株式会社安藤·間 篠原隆士

JSCE「仮設構造物の計画と施工 2025年改訂版」講習会

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

はじめに

仮設構造物 とは

- ■工事期間中の一時的な構造物
- ■安全率が低め
- ■自由度が高い
- ■工事の成否に大きく影響

要求事項

- ■安全な構造
- ■経済性
- ■施丁性
- ■安全な通行(仮桟橋、路面覆工の場合)



目次

- 1. 概要
- 2. 計画の要点
- 3. 設計の要点
- 4. 施工の要点
- 5. その他の配慮事項
- 6. 仮桟橋・路面覆工に関する工法紹介
- 7. まとめ



第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

1。概要

概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ

仮桟橋と路面覆工の概要

	仮桟橋	路面覆工
概要図	和高が連携 現工交前 利益は 利益は、水平益はそ が交け、水平益はそ が応じ、改善性という 大谷は、水平益はそ 大谷は、水平益はそ 大谷は、水平益はそ	第工を行えた 東工
設置目的	工事用車両・建設機械の 通行・作業足場	地上交通を確保しつつ、 地下構造物を施工
使用場所	河川上・開削工事内・法面上	都市部道路上
通行対象	工事関係車両主体	一般車両・歩行者
要求性能	工事用車両・建設機械の 通行時・作業時の安全性	一般車両通行時の安全性・走行性
概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ よとめ 「大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、大阪では、		

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

仮桟橋の施工例





河川上工事



概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ

グラング 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 6

路面覆工の施工例



路面覆工(交通の切り回し)



第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

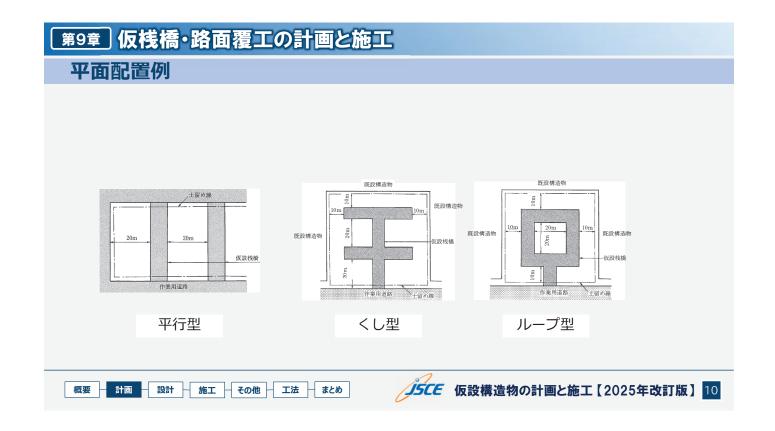
2。計画の要点



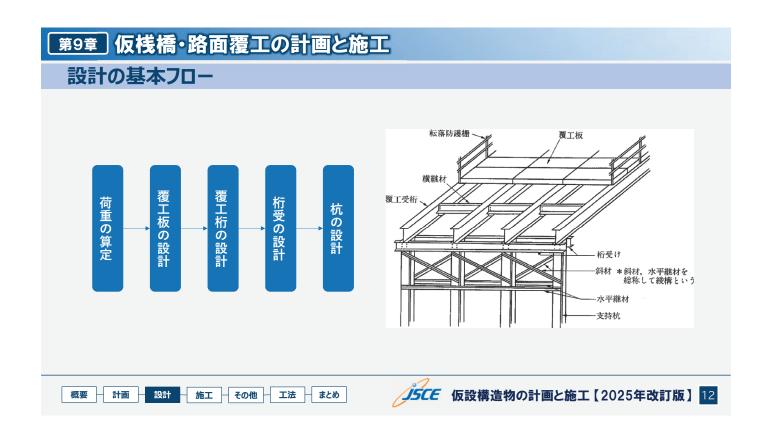
/JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 9

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工 計画の要点 計画時の一般値 1車線 : 4.0m~6.0m 幅員 対面通行: 8.0m以上 平行型、くし形、ループ型 平面形状 桟橋間隔 20m程度 下記を考慮 計画高 ・本体構造物との干渉 ・その他制限(建築限界、河川のHWL等) 勾配 6%以下

概要 | 計画 | 設計 | 施工 | その他 | 工法 | まとめ

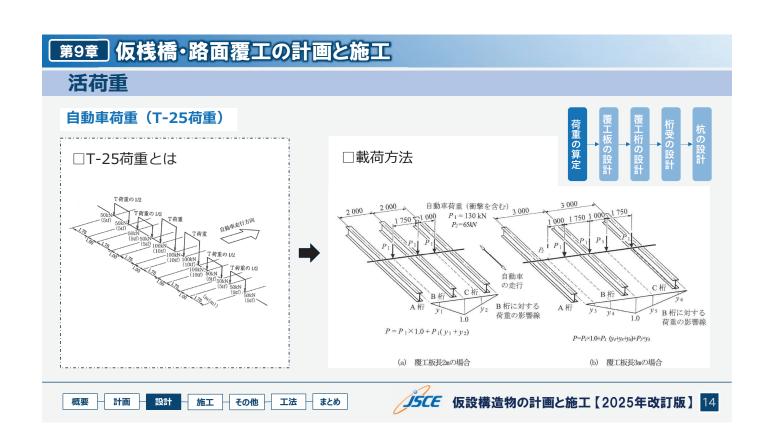


第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工 3。設計の要点 「数計 施工 その他 工法 まとめ 「多に 仮設構造物の計画と施工 [2025年改訂版] 11



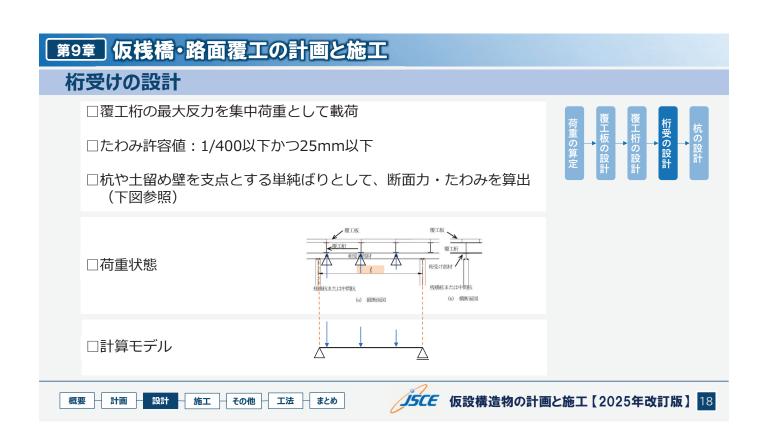
/JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 13

概要 計画 と設計 施工 その他 工法 まとめ



第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工 活荷重 クレーン接地圧の計算 荷重の算定 (1) 走 行 時 W:トラッククレーン自重 T:付加何重(吊り荷重等) 注)ここに示す1輪当たりの反力 およびアウトリガ反力には、 衝撃荷重は含まれていない。 (2) 作 業 時 (a) 側方品り (c) 斜め前・後方吊り 0.375(W+T)0.125 (W+T) 0.375 (W+T) 0.7(W+T) ラフタークレーン クローラークレーン **JSCE** 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 15 概要 計画 一 設計 一 施工 一 その他 一





杭の設計

- □「第3章 杭の支持力」に基づき設計
- □横断方向2m~3m、橋軸方向5~6m間隔が目安
- □発注者により中間杭と支持杭の兼用を認めていない場合があるので注意







JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 19

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

最小部材

覆工桁	H-250×250×9×14
桁受け	[-250×90×9×13
横継材	[-300×90×9×13
斜材・水平継材	L-100×100×10
杭	H-300×300×10×15





JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 21

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工 4. 施工の要点

概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ



杭の打設

施工要点

- □所定の位置に施工
- □所定の深度まで打設し、根入れを確保



留意点

□事前に地下埋設物や地上施設等に対する影響検討を行う





グラング 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 23

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

桁受け部材の取付

施工要点

- □計画高さに合わせて正確に取付け(覆工板のばたつき防止)
- □ドリルを使用してボルト孔をせん孔、スプリングワッシャ等を使用 して十分に締め付ける



留意点

□部材の切り欠き時は必要に応じて補強



覆工桁の取付

施工要点

- □覆工板の寸法に合わせて所定の間隔で
- □一般にI形鋼、H形鋼を使用
- □交通量の多い方に覆工板長手方向を一致させる

留意点

- □間隔が不正確だと覆工板のずれやばたつきの原 因となる
- □車の制動による水平荷重で傾斜・転倒・湾曲
- □勾配2.5%以上の場合は転倒防止材を設置
- □土留め支保工兼用時は座屈・転倒の安全性確保



概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ



JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 25



第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

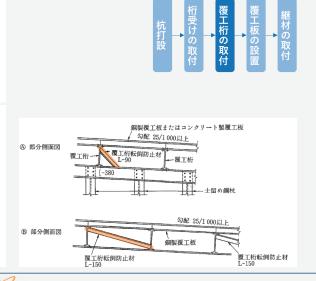
覆工桁の取付

施工要点

- □覆工板の寸法に合わせて所定の間隔で
- □一般にI形鋼、H形鋼を使用
- □交通量の多い方に覆工板長手方向を一致させる

留意点

- □間隔が不正確だと覆工板のずれやばたつきの原 因となる
- □車の制動による水平荷重で傾斜・転倒・湾曲
- □勾配2.5%以上の場合は転倒防止材を設置
- □土留め支保工兼用時は座屈・転倒の安全性確保



概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ

覆工板の設置

施工要点

- □すき間なく平滑に敷並べる
- □ずれ止めの金物を取付ける
- □支承部にパッキング材等を取付ける

留意点

- □転用時は疲労・老朽化による性能劣化の可能性あり
- □ばたつき・騒音抑制箇所には締結式を使用
- □道路内では一般的にすべり止め付き覆工板を使用



概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ



JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 27



第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

継材の取付

- □水平継材、斜材、横継材で各部材をつなぎ、全体の剛性を確保
- □掘削の進捗とともに速やかに設置



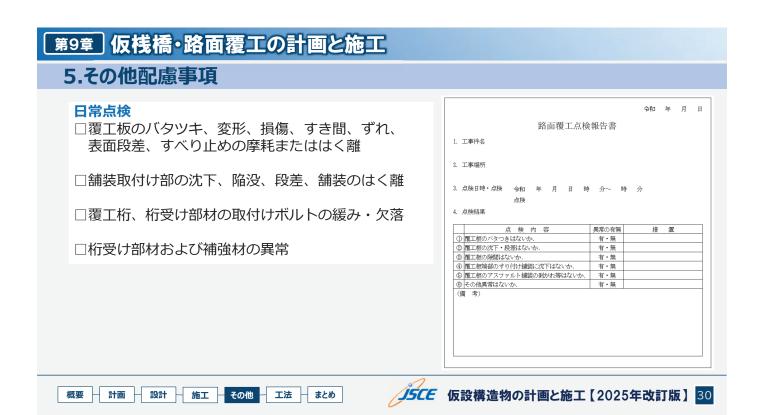


概要 | 計画 | 設計 | 施工 | その他 | 工法 | まとめ

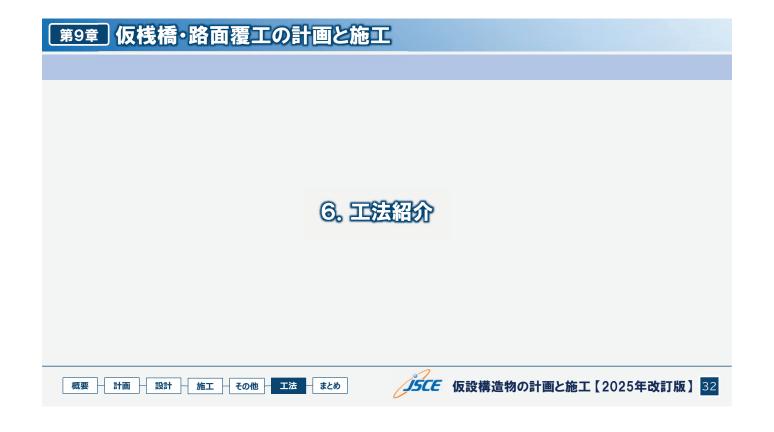
JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 29

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工 5。その他配慮事項

概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ



第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工 5.その他配慮事項 すり付け舗装 覆工桁 覆行板ずれ止め 在来路面 または溶接で固定 ※高力ボルト 路線材~ 桁受け - 土留め壁 支持杭 ※耐震補強部 a 部詳細区 耐震化 路面覆工の端部処理 挾締金具を用いた施工例 落下防止措置 /JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 31 概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ

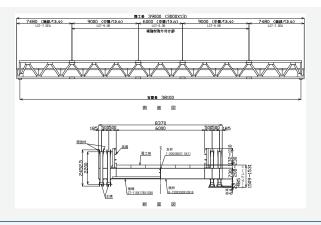


大スパン仮桟橋

概要: 鈑桁構造やトラス構造とした仮桟橋。河川や大規模掘削工事などに適用される。複数

のメーカーから提供されている仮設橋(リース橋)が採用されるケースが多い。

特長: 大スパンに適用可能で、杭本数の削減等、省力化が可能。





概要 計画 設計 施工 その他 工法 まとめ

/JŚCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 33

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

仮桟橋斜張式架設工法(LIBRA工法)

概要:地組みした上部鋼製パネルを支持杭の打設ガイドとして杭芯を確保し施工を行う方法。 特長:上部工仮設までの足場工・高所作業不要、導材設置不要、工程短縮、省力化、環境負 荷低減、



スキップロック工法 + GRBプラットフォーム

概要:圧入工法による飛び杭施工+専用ステージ架台を組み合わせた工法 特長:狭隘地で施工可、工程短縮、省力化、低騒音/低振動、環境負荷低減











/JSCE 仮設構造物の計画と施工【2025年改訂版】 35

第9章 仮桟橋・路面覆工の計画と施工

7。 まとめ





